

昭和医科大学烏山病院だより

# あおぞら

〔発行責任者〕 病 院 長 真田 建史

〔編集責任者〕 広報委員長 真田 建史

〔住所〕 〒157-8577 東京都世田谷区北烏山6-11-11

〔電話〕 03-3300-5231(代表)

第 2 2 5 号

[ 2 0 2 6 年 5 月 1 日 ]

## あかね会閉会のご挨拶

あかね会会員一同

昭和医科大学烏山病院患者家族会（通称 あかね会）は、1963年11月に発足以来、62年間活動を続けてまいりました。

しかし、近年は会員及び役員の高齢化と会員の減少、時代の変化も大きく影響して有効的な活動を継続することが困難になってきました。ここ数年、関係者の皆様と検討し、2026年3月末で閉会とさせていただきます。

院長先生をはじめ、職員の皆様、関係者の皆様には、長年にわたり言葉には尽くせないほどのご協力や励ましをいただきました。

心よりの感謝と御礼を申し上げます。

お蔭様で、会員の多くは、突然の家族の発病に苦しみながらも、毎月の「あかね会例会」や相談会で多くを学び、バザーやロビーコンサート、施設見学などで当事者と共に癒され、徐々に前を向いて歩くことができるようになりました。社会を変える運動にも多くかかわってきました。行政や議会への要望書の提出、作業所やグループホームの設立にも力を入れてきました。このように多くのことが実現できたのも、烏山病院に「あかね会」があつてのことです。

長年の活動の記録である「あかね誌」、それを支えてきた「ちぐさ会」の歴史は烏山病院の図書室と、国立国会図書館にも保管していただけることになりました。

皆様 大変お世話になりました。本当にありがとうございました。

末筆ではございますが、皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。



## 着任のご挨拶

看護次長 横尾 志おり

このたび、2026年4月1日付で烏山病院 看護部次長に着任いたしました横尾志おりと申します。

本年は、昭和医科大学の附属病院となり、75周年を迎える節目の年でもあり、その歴史と伝統を受け継ぐ病院で新たな役割を担わせていただけることを光栄に存じます。また、今春のNHK連続テレビ小説では、「日本のナイチンゲール」と称された大関和さんが描かれています。看護の専門性と価値が社会的に再び注目されるこの時期に、精神科医療に携わる者として、看護の原点を見つめ直す機会をいただいていると感じております。

患者さんを生活者として尊重する姿勢を大切にしながら、安心・安全な医療の提供と、学び続けられる看護部づくりに尽力してまいります。さらに、地域に根ざした精神科医療の充実にも努め、地域の皆さまに信頼される看護を目指してまいります。

よろしくお願ひ申し上げます。

## 多摩動物公園に行ってきました

リハビリテーションセンター 五十嵐 美紀

3月30日にデイケアでは『デイケア向上委員会』プログラム(月曜：午後)に参加しているメンバーさんの企画で、多摩動物公園へ行ってきました。50名を超える参加者で、春らしい穏やかな陽気の中、とても気持ちの良い一日を過ごすことができました。

今回の外出は、デイケア向上委員会が「桜を見ながら、みんなで楽しめるイベントをやりたい」と話し合いながら準備を進めてくださった企画です。行き先の検討や当日の流れなど、参加される皆さんのことを考えながら形にしていく姿がとても印象的でした。

当日は園内で、それぞれのペースで動物たちを見て回りながら、「あの動物かわいいね」「久しぶりに来たなあ」と自然に会話が広がり、たくさんの笑顔が見られました。ちょうど桜も楽しめ、動物も景色も満喫できる外出となりました。

印象的だったのは、イベント当日だけで終わらなかったことです。2日後のSSTプログラムでは、「上手な雑談」をテーマに、まず動物園の感想を話すところからスタートしました。

「キリンが思ったより沢山いた」「子供の頃動物園で迷子になったことがある」…そんな話題から、会話がどんどん膨らみ、とても和やかで楽しい時間になりました。

メンバーさんが企画したイベントが、新たな会話やつながりを生み、その後のプログラムにも広がっていく。そんな瞬間を見るたびに、デイケアの持つ力の大きさを感じます。一人では生まれにくい安心感や会話が、集団の中だからこそ自然に広がっていく。デイケアの大きな魅力のひとつです。

現在は、デイケア向上委員会の企画で「写真コンテストイベント」も開催中です。『春』をテーマに、それぞれが見つけた素敵な風景や日常が集まるのが今から楽しみです。こちらの様子も、また改めてご報告させていただきます。



## B3 病棟師長着任のご挨拶

B3 病棟 看護師長 久保山 香織

今年3月より藤が丘病院から異動して参りました。烏山病院には学生時代の実習でお世話になりましたが、当時は立て直し前であり、10畳以上の部屋やまるで牢屋のように感じられる部屋があったことを記憶していません。

私は看護師として勤務を開始して以来、スタッフ及び部署責任者として23年に渡り救急領域に従事してきました。救急現場では、精神疾患を背景として搬送されてくる多くの患者がいます。しかし、身体的問題が解決すると患者は退院や転院となり、精神科病棟を持たない救急医療の限界も感じてきました。これまで救急領域においても精神疾患患者と接する機会は多くありましたが、烏山病院では患者が病気と共存しながら、その人らしく生活していけるよう支援し、一日でも早い退院を目指した調整が行われています。

私自身も患者さんと社会を繋ぐ架け橋となれるよう、また職場の管理を任される立場として、スタッフが働きやすい環境づくりにも尽力していきたいと考えています。

## コラム連載（第7回）

こちらは、当院で働く様々な職種の方に、当院にまつわるお話や、メンタルヘルスに関することなど幅広い形で情報提供をさせていただく企画です。第7回は、当院作業療法室責任者である、小林 崇志氏に執筆してもらいました。

### “遊び”がリハビリになる不思議～作業療法(OT)のお話～

昭和医科大学烏山病院 作業療法室 小林 崇志

皆さんは最近、何かに夢中になって遊びましたか？

精神科のリハビリ（作業療法：OT）では、家事や仕事、そして「遊び」といった日常の活動を、心を回復させるための大切なツールとして使います。

「リハビリで遊ぶなんて、ただの暇つぶしでは？」と思うかもしれませんが、もちろん、楽しい！は大切です。しかし、実はそれ以上に“遊び”には、自分らしい生活を取り戻すための要素がたくさん詰まっているんです。

例えば…

- 『自分で決める』：「何をしようかな？」と計画し、自分で選ぶことは、自信を回復させる第一歩です。
- 『自分の状態を知る』：「今の体力と気力でできるかな？」と考えることで、自分自身を冷静に見つめ直せます。
- 『交流のきっかけ』：「一緒にやってみよう」と、遊びを介して交流する練習にもなります。
- 『自分らしさの再発見』：「これ好きかも！嫌いかも？」という感覚は、安心感や新しい目標を見つけるきっかけになります。 などなど

皆さんも、これまでの“遊び”を通じて、多くのことを学んできたのではないのでしょうか。もし今、心のどこかに「やれていない大切な遊び」があるとしたら、それを一緒に取り戻すこともまた私たちの仕事のうちのひとつです。活動の様子はこの広報誌で紹介しています。ぜひ、自分らしさを見つけるヒントを探してみてください！



百人一首・坊主めくり大会がデイケアで行われました。プロジェクト K というプログラム内の企画としての開催で、自分も企画側として参加しました。

プロジェクト K では過去にもトランプやポッチャなどデイケアメンバーが楽しめるようなイベントを定期的に企画しています。

今回のイベントでは百人一首と坊主めくりの二つのコーナーを用意し、それぞれが参加したいゲームを選べるように準備しました。

自分は百人一首のコーナーを担当し、ゲームにも参加しました。読まれた札を取られた際には拍手や「おお〜」などの歓声上がり、いい雰囲気で行われていました。

坊主めくりのコーナーの方も、参加人数も多く（自分は遠目から見ていただけですが）盛り上がっていたように思います。

イベントを締める終わりの言葉を、急遽当日に担当することになり、うまくできるか不安でしたが、問題なく喋ることができてホッとしました。

今回の経験を活かして、皆さんが楽しめるようなイベントを、次のイベント以降でも開催していけるように頑張りたいと思います。（S.O）



## 【編集後記】

青葉の美しい季節となりました。5月ならではの話題として外せないのが連休の話題です。ゴールデンウィークはどのように過ごされましたか。ゆっくりされた方も多いのではないのでしょうか。

さて、今月号は当院で行われているイベント等さまざまな内容をお届けしています。ぜひご一読ください。

新年度から1カ月が経つものの、まだまだ慌ただしい日々を送っている方もいられる事と存じます。比較的、過ごしやすい気温だとは思いますが、引き続き体調管理に気をつけていきましょう。

広報委員 長谷川 仁美

◀ 3月 ▶ 入院(前月) 外来(前月)

◆延患者数 8,783(7,961) 6,622(5,926)

◇一日平均患者数 283.3(284.3) 264.9(269.4)

◆診療実日数 31(28) 25(22)

### 総合サポートセンター

～受診・入院のご相談～

診察時間：月曜日～土曜日 8時30分～17時

電話：月曜日～土曜日 03-3300-5231

◎初診受付：月曜日～土曜日 8時30分～14時

◎休診日：日祭日・本学創立記念日・年末年始

広報委員会では、皆様のご意見ご感想をお待ちしております。連絡先は [k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp](mailto:k-kouhou@ofc.showa-u.ac.jp) となります。こちら鳥山病院のホームページのQRコードとなります。ぜひご覧ください。



鳥山病院精神医学講座インスタグラムが開設されました。

随時情報を発信していきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

